



普段着の私



総合相談・地域連携室 理学療法士 藤本 真子

私は古いものに興味を惹かれることがあり、歴史的建造物（城郭や神社仏閣等）を訪ねたり、美術館や博物館で絵画や展示物を鑑賞することに興味が 있습니다。新型コロナウイルスの影響が長引く中では自粛により出かける機会はありませんでしたが…。

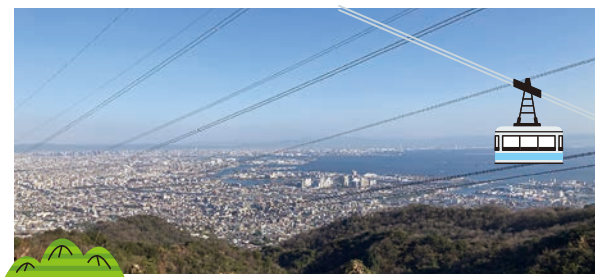
少し昔の話になりますが、パリのルーブル美術館やオルセー美術館、フィレンツェのウフィツィ美術館等で本物の絵画を見た感動は今も忘れられないほど貴重な体験でした。世界的な大都市や観光都市には必ずと言っていいほど、有名な美術館や博物館があるため旅行の楽しみの一つでもあります。

兵庫県内にも多くの美術館や博物館、歴史的建造物があります。専門的な知識はありませんが、歴史や文化を学んだり、日本の良さを再発見したり、建物内の雰囲気味わうなど魅力に感じることがあります。また、建築そのものがアートであり、別世界にきたような感覚にもなります。つつい引きこもってしまいがちですが、そろそろ重い腰を上げて、日常とは違う別世界の旅に出かけたいものです。



薬剤部 高野 峻一

3月の中旬、六甲山へ登山に行っていました。阪急芦屋川駅から六甲山最高峰を目指すルートでしたが思っていたよりも歩きづらい道もあり、体力的に苦労しました。しかし、すれ違う人との「こんにちは」という挨拶に元気をもらいました。天気は快晴で海や街並みが遠くまで見渡せました。鶯の声が聞こえ、空気も気持ちがよく良いリフレッシュになりました。最高峰を目指して登りましたが体力が限界を迎え、一步手前で断念し、下りはバスとロープウェイで帰ってきました。山上にはガーデンテラスや高山植物園などの施設もあり興味をもちました。次は登頂できるように挑戦しようと思います。



各部署の紹介について

認知症疾患医療センターってどんなところ？



当センターは平成21年11月に、兵庫県の指定を受けて開設いたしました。

認知症患者さんとそのご家族が住み慣れた地域で安心して生活するための支援を行う専門医療機関です。職員には、認知症専門医師、認知症看護認定看護師、精神保健福祉士、保健師、公認心理師、音楽療法士が在籍しております。

日本は現在、高齢人口の急速な増加に伴い、認知症患者さんも増えています。いかに予防するか、または早期に発見して症状の進行を遅らせることができるかが、目標の一つでもあります。

近年、MCI（軽度認知障害）若しくは認知症の予備軍と診断される患者さんも一定数おられます。「最近、物忘れが増えたので少し気になる」「同じことを何度も言う、家族に言われる」などの段階で、当センターの物忘れ外来を受診して下さる方も多く、早期に正しい診断をすることで、認知症の予防や症状の進行を遅らせることが期待できます。

当センターでは、MCI（軽度認知障害）の研修会を定期的に開催しております。また、認知症と診断されても、生活しやすい環境を整備して、ご本人やご家族の希望に沿ってサポートしていくことが重要であると考えております。地域の中で、自分らしく日常生活を送るために地域と連携して、チームで寄り添っていきけるように今後も努力してまいります。



浜坂温泉保養荘

おんせんと
うまいもんで
おもてなし

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
http://www.hamasaka-ni.com/

ご予約・お問い合わせは ☎(0796)82-3645

1泊2食付き
※65歳以上(平日)

7,500円~

Play Sport

ふれあいスポーツ交流館

TEL 0791-58-1313
FAX 0791-58-1323

〒679-5165 たつの市新宮町光都1-7-1

リハビリテーション西播磨病院だより

ひがりの都

2023年
5月発行



ご挨拶

院長補佐 金澤 慎一郎



4月に院長補佐を拝命しました金澤です。

私は平成18年の当院開設時にリハビリテーション中央病院から異動してきました。常勤医師はセンター所長を含め9名だったと記憶していますが、そのうちで今も勤務しているのはいつのまにか私だけになってしまいました。

開院当初は夜が寂しい光都の地で何もかもが暗中模索の状態でした。西播磨の外の社会情勢もはっきり覚えておりません。この機会にその年の出来事を振り返ってみますと、神戸空港が開港、第一回ワールドベースボールクラシックで日本が優勝、阪神の金本選手が連続出場の世界新記録、など励まされるような出来事が並んでいます。新しい玄関口を開き、様々なキャラクターの人々が特技を生かし、地道に根気よく仕事を続ければ良いことがある、と教えてくれていたようです。

一方で、日本の人口が初めて前年より減少、神戸ポートピアランド閉園、などのその後の少子高齢化の時代を示唆するような出来事もありました。新型コロナウイルスが社会に大きな影響を与えていますが、この災厄が落ち着いた時に思い出さざるを得なくなるのは、長生きできることに伴う疾患だと思います。血管の老化が影響する脳卒中に加えて、骨粗鬆症に続く骨折、徐々に進行するパーキンソン病、増加する認知症、足腰が弱るロコモティブシンドロームと関節の変性疾患、などへの対応が重要になってきています。天の時を見ながら方向を決め、西播磨の地の利を生かし、それぞれ得手不得手のある人の和をはかることに微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思っています。

新任・転入職員のご紹介（順不同）

当院に新しく着任したスタッフを紹介します。皆様よろしくお願い致します。

●総合相談・地域連携室

【地域連携室長（医師）】



榎林 哲雄（転入）
高知大学で3年間、はり姫路総合医療センターで1年間、経験を積み、4年ぶりに戻ってまいりました。よろしくお願い致します。

【地域連携室課長（看護師）】



松村 弘子（転入）
中央病院から転入してきました。これまでの経験が生かせるよう努めたいと思います。

【医療ソーシャルワーカー】



重入 実代子（転入）
今までは障害者施設で働いており、初めての業務に戸惑うことばかりですが、1日でも早く慣れるために頑張りますので、よろしくお願いいたします。

●検査・放射線部

【検査技師長（臨床検査技師）】



高野 和貴（転入）
5年ぶりの復帰となります。また皆様とお仕事ができることを光栄に思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【診療放射線技師】



小南 洋二（新任）
救急病院、クリニックを歩んで参りました。これまでの経験を生かし当施設、地域に貢献したいと思います。不慣れな点あるかと思いますが未永くご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

●薬剤部

【薬剤部長（薬剤師）】



向井 茂人（転入）
この度、リハビリテーション中央病院より来ました向井と申します。皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

●業務部

【医事調整課課長】



井川 宏治（転入）
リハビリ中央病院から異動してまいりました。8年ぶりの西播磨病院勤務となります。気持ちも新たに、精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

●総務部

【総務課主事】



西川 裕斗（新任）
1年目でまだまだ未熟ですが、少しでも早く業務や環境に慣れ、利用者の方々に貢献できるように頑張ります。よろしくお願い致します。

●リハビリ療法部

【理学療法士】



森 望琴（新任）
至らない点が多いと思いますが、早く患者様に安心して治療を受けていただけるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

【作業療法士】



柴原 義幸（新任）
1日でも早く病院の一員として、作業療法士として、活躍したいと思っております。また、周りの方々に笑顔になっていただけるように元気に頑張ります。よろしくお願いいたします。



竹田 早希（新任）
患者様の希望に沿ったリハビリを行い、安心して治療を受けてもらえるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



成瀬 良介（新任）
まだまだ未熟でご迷惑をおかけするかと思いますが、皆様に信頼してもらえる作業療法士を目指して全力で頑張ります。よろしくお願いいたします。



西浦 あさひ（新任）
新しい環境で緊張もありますが、少しでも早く患者様に貢献できる作業療法士になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



山口 希莉人（新任）
患者様に信頼していただけるよう、まず業務を少しでも早く覚えて取り組み、勉強を日々続けていこうと思っています。よろしくお願いいたします。

【言語聴覚士】



藤本 博子（新任）
患者様・職員の皆様と共に成長していけるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

●看護部

【看護師】



小西 ひろ子（新任）
私は、“笑う門には福来る”という言葉が好きです。笑顔を大切に、明るく前向きに頑張ります。患者様の思いに寄り添い、信頼していただけるよう努力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



銅玄 瑞貴（新任）
この度、4月から勤務させていただくことになりました。何事にも前向きに取り組み、患者様、ご家族の気持ちに寄り添った看護を提供できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



成川 恵里香（新任）
最近、韓国ドラマに夢中になっています。お勤めがあったら教えてください。看護師として成長できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



信岡 洋子（新任）
希望の病院へ配属となりました。夜勤は随分以前にしましたが、気持ちはアスリートになるつもりで決めて弱音は吐きません。他職種の方にお会いして、身のひきまいる思いです。よろしくお願い致します。



近藤 晶子（新任）
初心を忘れず、笑顔で楽しくお仕事ができるよう頑張ります。自然が大好きで、“ソロキャン”も趣味のひとつです。どうぞよろしくお願い致します。

LSVT® (Lee Silverman Voice Treatment) とは？



パーキンソン病の諸症状に対するリハビリテーションプログラムです。1980年代に米国の言語聴覚士によって開発され現在では世界的に知られています

LSVTには、言語障害に対する「LSVT LOUD®」、運動障害に対する「LSVT BIG®」があります。これらのプログラムは、有資格者によって指導されます。当院にはLSVT LOUD® 資格者4名（ST）、LSVT BIG® 資格者が8名（PT4名、OT4名）が在籍しています（2023年4月現在）

大きく！
1・2・3・



LSVT LOUD®

- ・パーキンソン病やその他の神経学的症状のある方々の発話の改善を目的とした訓練で言語聴覚士が担当します
- ・「大きな声」を出すトレーニングを行い、日常生活においても「大きな声」が出せ持続することを目標とします
- ・「模倣」を中心とした課題や日常的によく使うフレーズを用いた発声訓練、毎日の宿題、自主訓練を実施します

LSVT BIG®

- ・運動機能の低下や動作緩慢に対して大きな動きを集中的に訓練し、理学療法士や作業療法士が担当します
- ・「大きな動作」を行うトレーニングを行い、日常生活においても「大きな動作」が行え持続することを目標とします。
- ・7種類の運動、日常生活で困っている動作訓練、大きな歩行法、毎日の宿題、自主訓練を実施します

当院入院のLSVT LOUD®コース・LSVT BIG®コースの紹介

約1週間 評価 身体 / 言語面を多角的に評価

4週間 訓練 LSVT LOUD® または LSVT BIG® の実施

約1週間 再評価 初回に行った評価を再度行い訓練効果を確認

- ・1日1時間のセッションを週4回（合計16回）
- ・セッションがある日は1回、ない日は2回自主訓練を必ず行う

※当院もしくは他院にてLSVTを経験したことがある方に対してBrush Upコースもあります 入院期間は約3～4週間となります

※LSVT®以外の通常リハビリ入院もあります

当院では以下の方に行っています

- ・Hoehn & Yahr 分類で1～3の方
- ・on 時に安定して歩くことのできる方
- ・精神的に安定しており、やる気のある方
- ・退院後も継続してLSVT LOUD® や LSVT BIG® に取り組める方

相談窓口

- ・まだ受診されていない方は総合相談・地域連携室までご相談下さい
- ・入院・外来中の方は主治医にご相談下さい

難病看護相談の実施について

去年度より試験的にですが、入院経験のある難病患者様（特にパーキンソン病・パーキンソン病症状候群の方）対象に、難病看護相談を実施しております。今のところ2か月に1回（偶数月の最終水曜日）と頻度は少ないのですが、在宅での生活を継続できるような関わりができることを目指しています。

相談内容として、薬のことを始め、転倒・リハビリ・介護方法など患者様・家族様からも色々とお話を聞かせていただいています。現在試験段階中ですが、患者様のニーズや外来看護師とも相談するなどして、ブラッシュアップしていきたいと思っています。難病看護相談が本格的に開始した際は、再度報告させていただきますので、よろしくお願いします。

